

KOTOH'S NEWS

浜松湖東高校でしかできない新しい学び PBL(Project Based Learning)

PBLとは

問題解決型学習

(Project Based Learning)。

これは別名「課題解決型学習」とも呼ばれ、知識の暗記などのような受け身の勉強でなく、自ら問題を発見し解決していく勉強のことです。正しい答えにたどり着くことが重要ではなく、答えにたどり着くまでの過程(プロセス)を大切に学習で湖東高校ではR2年度(2020年度)より取り組んでいます。

Social Change Programとは

1年生のソーシャルチェンジでは、みなさんが自分から社会課題を見つけてその解決に取り組むプログラムです。困っている人の問題を自分ごととして捉え、チームで企画を考え、プレゼンテーションをしていきます。このプログラムを通して人の心を動かし、社会を変える第一歩を体験していきます。



クエストカップ2021ソーシャルチェンジ部門で選ばれ全国大会に出場

これから必要な力「探究力」



標準化されたカリキュラムに沿って、単に座って授業を聞いているだけでは、本当の学びにはなっていません。また、試験のために知識を詰め込み、一時的に記憶するだけでは、試験では良い点が取れるかもしれませんが、その先にはつながりません。そこで、浜松湖東高校では課題解決型学習 (**Project Based Learning**) により探究力を育成しようと、目指す生徒像を「自分から 自分らしく 自分の言葉で語れる生徒」とし、育成したい資質・能力を「コミュニケーション能力」、「関連づける思考力(比較・分類)」、「発信力」、「論理力」、「分析・批判的思考力」、「ネガティブ・ケイパビリティ」の6つとしました。



Corporate Access Programとは

2年生のコーポレートアクセスでは、実在する企業でのインターンシップを教室で体験しながら企業と共に未来をつくっていくプログラムです。その体験を通して働くことの意義や企業活動への理解を深めるとともに、企業という機能を用いて新しい未来を自分たちの手で作りだしていくことに取り組みます。



◎協賛企業

浜松湖東高校ではZOOM等を利用し全国の大企業（以下参照）とオンラインを通してインターンシップを行います。現在、県西部では、本校でしかできない特色あるキャリア教育です。必ず将来の力になると自負してお



ります。

*上記9社に加え、R2年度(2020年度)はアデコグループ、吉野家ホールディングスも加わりました。浜松湖東高校でしか経験できないインターンシップです。高校時代にぜひとも身につけておきたい「生きる力」の学びを保証します。一旦やりだすと本当に楽しく、自分が変わっていきます。浜松湖東高校でPBLにトライしませんか？

浜松湖東高校の「総合的な探究の時間」

Social Change 授業のルール

1. 他人の意見を否定しない
2. 自分の意見を否定しない
3. なんでも言うしてみる

浜松湖東高校の「総合的な探究の時間」ソーシャルチェンジの授業は、一人ひとりが主役となって小さな一歩から社会を変えていく取り組みです。ちょっとしたひらめきや何気ない思いつきも、仲間と話し合うことで驚きのアイデアや納得の答えに変わっていきます。「何を言っても否定・批判をされず、自由に意見が言える」授業です。

Corporate Access 授業のルール

1. とことん意見を出し合う
2. 「なぜ」をとことん考える
3. とことん楽しむ

浜松湖東高校の「総合的な探究の時間」コーポレートアクセスの授業は、たった一つの正解は存在しません。何種類もの答えがあり、みなさん一人ひとりに正解があります。そして、どこまで行ってもこれが最終ゴールというものはありません。どうしたら自分らしい答えを導けるのか、どうしたらもっと本質に迫れるか、常に考え続ける授業です。

浜松湖東高校の「リーダーシップ教育」

浜松湖東高校では、課題解決型学習（Project Based Learning）を通してリーダーシップ教育にも力を入れています。「リーダー」と「リーダーシップ」は違います。「リーダー」とはポジションとしての名称であり、「リーダーシップ」とは態度スキルを指すものです。権限(カリスマ、役職、地位)がなくとも発揮できる(発揮すべき)ものというのが世界標準の定義です。「リーダーシップ」はみなさん、一人ひとりが発揮できるものです。「リーダー」のようにチームをぐいぐい引っ張ることが苦手でも、チームの仲間を助けたり支えたりすることも「リーダーシップ」の一つという意識を持たせていきます。リーダーシップ発揮は決して難しいことではありません。探究活動を通して「リーダーシップ」スキルを浜松湖東高校で身につけていきませんか？